令和7年度 西京区地域保健推進協議会 会議録

- 1 日 時 令和7年8月5日（火） 午後2時～4時
- 2 場 所 西京区役所洛西支所 2階大会議室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 15名
(稲垣委員、井上委員、木下委員、小石委員、小原委員、竹中委員、田中委員、中江委員、中島委員、福井委員、本田委員、宮本委員、山口委員、山本委員、吉田委員) 欠席3名
 - (2) 京都市 12名
西京区役所保健福祉センター
武元センター長、岡健康長寿推進課長、岩井健康長寿推進課担当課長、滝川障害保健福祉課長、森川子どもはぐくみ課長
洛西支所保健福祉センター
岡田センター長、小野健康長寿推進課長、多田健康長寿推進課担当課長
伏見障害保健福祉課長、安田子どもはぐくみ課長
保健福祉局
呉谷医療衛生推進室医療衛生企画課担当係長
子ども若者はぐくみ局
加藤子ども家庭支援課担当課長
 - (3) 事務局 3名
- 4 内容
 - (1) 令和7年度 京都市保健所運営方針について
(説明) 小野 洛西支所保健福祉センター健康長寿推進課長
 - (2) 令和6年度 事業報告について
(説明) 岩井 西京区役所保健福祉センター健康長寿推進課担当課長
安田 洛西支所保健福祉センター子どもはぐくみ課長
滝川 西京区役所障害保健福祉課長
 - (3) 令和7年度 西京区における地域の健康課題及び事業実施計画について
(説明) 多田 洛西支所保健福祉センター健康長寿推進課担当課長
安田 洛西支所保健福祉センター子どもはぐくみ課長

(4) その他 意見交換

ア 広報活動について

(委員)

広報活動に関して、高齢者層には紙媒体(チラシ、新聞)が有効である一方、若年層には SNS やインターネットの活用が重要である。現在のチラシに QR コードを導入し、そこから詳細な情報やアンケートへアクセスできるようにする取り組みを推進してほしい。QR コードによる情報連携とアンケート収集の利便性(短時間での回答、迅速な集計)を活用すべきと考える。また、得られたアンケート結果を西京区だけでなく、京都市全体に展開して政策改善に繋げることを提案する。高齢者層がフェイクニュースを見分けにくい現状から、紙媒体による情報提供の継続も重要である。

(京都市)

広報活動では日頃からできるだけ多くの人に情報が伝わるよう心がけており、紙媒体と電子媒体の併用が重要であると認識している。QR コードを活用して電子媒体との連携を強化し、アンケートもスマートフォンで回答できる形式を推進しているものの、高齢者の活用にはまだ課題がある。今後も、高齢者への配慮とデジタル化の推進を両立させながら、取り組みを進めていく。

イ 妊娠・出産・子育てに関する相談窓口について

(委員)

無保険で妊娠に気づかず出産した方がおられた。16 ページに記載されている「妊娠・出産・子育てに関する相談窓口」の詳細について説明してもらいたい。その際、「きょうと妊娠 SOS」や「きょうと妊娠から子育て SNS 相談」のようなサービスが、同様の状況にある人々を救う助けになるのではないか。

(京都市)

子どもはぐくみ室でも、予期せぬ妊娠に関する相談を受け付けており、電話や窓口での相談が可能である。妊娠に関する相談に対しては、必ず対面での面接を行っており、京都市としての本格的な連携は令和 7 年 7 月から「きょうと妊娠 SOS」などが開始されているが、西京区にある乳児院でもすでに同様の相談を受け付けており、全国の妊娠 SOS のような既存のサービスも活用できる。また、トイレなどに設置されている、妊娠に関する相談窓口の連絡先が記載された小型カードを通じて情報提供を行っている。